

# 社協だより

## ◆◆◆ 同和地区社会福祉協議会 会長あいさつ ◆◆◆

平成28年度社協行事も始まり、地区交流行事も沢山の方にご協力いただき有り難うございました。同和地区は高齢化がすすんでおります。少しでも地域が、元気で明るい町でいられるようにいろんな行事により多くの人に参加していただける地域社会づくりができればと思います。

同和地区社会福祉協議会会長 市川 満

## 同和地区社会福祉協議会本部役員紹介

参 与	水谷 謙之	会 長	市川 満
副 会 長	真田 順也	副 会 長	仲野 雅子
書 記	内山 深幸	書 記	大野 武毅
会 計	高井 隆太郎	会 計	近藤 明美
会 計	大西 岳夫		(敬称略)

どうぞよろしく申し上げます。

## 同和地区交流行事 5月29日(日) 三滝川河川敷

少し雲がありましたが、晴れていて気持ちの良い風が吹くこの日、社協交流行事が三滝川河川敷で開催されました。綺麗に草が刈られ整備された場所でのグランドゴルフ、ホールインワンやナイスショットの連発(!?)で皆さんの楽しそうな笑顔がみられました。童鼓会による諏訪太鼓の演奏では、大変迫力があり、皆さん聞き入っていました。恒例の豚汁の振る舞いがあり、具たくさんで小さなお子さまもおいしそうに食べていました。最後は、お楽しみの抽選会で盛り上がりました。少子高齢化が進む中、地域での世代を越えて楽しめる交流行事はとても大切だと改めて感じました。

来年も沢山の方のご参加をお待ちしております。



## 《参加者の声》

### グランドゴルフ

暑すぎなくて良かった  
天気が良くて良かった  
ホールインワン賞獲れた



### 豚汁

おいしかった  
橋の下は風があつて涼しかったが、豚汁が温かくておいしかった



### 諏訪太鼓

かっこよかった  
とても上手だった  
迫力があつた



### 抽選会・参加賞

参加賞が豪華で良かった  
普段会わない人にいっぱい会えた



# 防災特集

無意識のうちに防災への関心が薄れていた矢先、4月14日熊本地震が起きました。阪神淡路大震災では火災の恐ろしさを、東日本大震災では津波の恐怖を、そして熊本地震では2週間で震度7が2回、震度6が5回という大きな揺れの恐ろしさを目の当たりにしました。海が近く川が近い同和地区では、常に災害に対する備えを心掛けなければなりません。今年の社協だよりも防災について取り上げていきます。同和地区には津波避難ビルがありません。市にはすでに提案していますが、1日も早い防災避難所の建設が切に望まれます。

## ◆防災倉庫・水防倉庫の設置◆

### 《防災倉庫》平成26年 中町自治会館南側に設置



◎備蓄品内容：救出救助用機材(ノコギリ・ツルハシ・ハンマー・バール)照明、拡声器、ヘルメット、バケツ、紙オムツ(大人用・子ども用)、救急箱 等  
水・非常食は中町自治会館にあり、賞味期限の関係で防災訓練に使用し、随時補充されています。鍵は各自治会長宅に保管されています。

### 《水防倉庫》平成27年 三滝川堤防市場の東側に設置

◎備蓄品内容:土のう、スコップ、斧、トラロープ、縄、ノコギリ、かけや(木槌)、ペンチ杭、ビニールシート、A型バリケード、鉄線、ツルハシ、一輪車、ライフジャケット 等  
鍵は連合自治会長宅と八幡町の各自治会長宅に保管されています。



また中町理容会館に、同和地区に初めてAEDが設置されました。理容会館さんのご厚意で、正面シャッターの鍵を中町1区自治会長の後藤さんが預かっているので、緊急の場合可以使用することができます。



## 同和地区自主防災隊からのお知らせ

先日の回覧で各戸に配布されました。

毎月第一日曜日シェイクアウト訓練をいしましょう！！

訓練は3つの安全行動を「その場」で行うだけ！



←←←←←←←←←← 1分程度 →→→→→→→→→→

イラスト提供:日本シェイクアウト提唱会議

地震が起きたとき、まず身を守るためにどう行動するか、各家庭の事情にそって、昼の場合、夜の場合など家族で話し合い、毎月1回実践してください。

# 同和地区社協カフェサロン 6月15日(水)八幡町集会所

今年度1回目のカフェサロンが開催されました。32名の方が元気に参加してくださいました。好評により茶話会形式でお茶とお菓子を前に、自由に会話を楽しんでいただきました。後半は、牛乳パックで簡単にできる小物入れを作っていただきましたが、皆さんとても上手に仕上げていました。にぎやかな笑い声につつまれ、楽しかったとの感想をいただきました。



## 広報部活動



日頃皆様には、写真撮影や原稿依頼などにご協力いただきありがとうございます。今年度の広報部は、女性ばかりの8名で構成されています。部員の中には育成会の子育て真っ最中のお母さんもいて、行事の取材にはお子さんを連れて参加していただくこともあります。

広報部の活動内容は年2回の社協だよりの発行、それに伴う記事内容の選定・行事の取材・写真撮影などになります。部会を開き、記事選定・取材担当・紙面割り・発行までのスケジュールを決めます。担当ごとに取材や写真撮影を行い、原稿を作成、その原稿や写真をもとに紙面作成、部員全員による下刷りチェックのあと、印刷、発行となります。毎年同じ行事を取り上げることが多いため、その年の特色を出すことに苦心しております。地域の皆様に楽しく読んでいただける紙面作りを目指し、部員一同頑張っております。行事にたくさん参加していただき、社協だよりの紙面を飾ってくださいますよう、よろしくお祈りいたします。



(編集後記)

今回は、広報部の活動を紹介させていただきました。社協だよりの裏側を少し知っていただくことができましたでしょうか。今年の梅雨は、関東で水不足、中国・九州地方では大雨による被害をもたらしました。22号になるこの社協だよりが発行される頃は、そんな梅雨も明けていることでしょう。リオデジャネイロオリンピックも間もなく開幕。日本代表が次々と決まり、明るい話題が世間を賑わせてくれていることを願っています。 担当 S.I

